

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：議会費 項：議会費 目：議会費

事業名【新】ブラジル岐阜県人会創立85周年記念事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

議会事務局総務課 管理調整係 電話番号：058-272-1111(内 9113)

E-mail：c12159@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,162 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,162	0	0	0	0	0	0	0	5,162
決定額	5,162	0	0	0	0	0	0	0	5,162

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・ブラジル岐阜県人会が令和5年で創立85周年(岐阜県人ブラジル移住110周年)を迎え、現地ではブラジル岐阜県人会が主催する「ブラジル岐阜県人会創立85周年式典」が計画されている。当式典に県議会として参加し、岐阜県人の功績を讃え、県人会との協力体制の維持や強化を図る。

(2) 事業内容

・副知事を始めとする代表団に県議会として同行して現地を訪問し、以下の行事を予定。

- ・ブラジル岐阜県人会創立85周年(岐阜県人ブラジル移住110周年)記念式典 …知事表彰・感謝状贈呈、記念懇談会 等
- ・先没者慰霊
- ・ブラジル県人会との意見交換会 等

(3) 県負担・補助率の考え方

・5年に一度、岐阜県人会を訪問し、岐阜県人の功績を讃えることや岐阜県とブラジルとの繋がりを県民に広く周知することは、本県との協力体制の強化、更なる交流の発展に繋がるため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

・無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	3,936	旅費 議長：ビジネスクラス往復2,856 随行：エコノミークラス往復1,080
需用費	201	土産品代
役務費	515	通訳代
使用料	510	車借上代料
合計	5,162	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・北海道「北海道人ブラジル移住100周年及び協会設立80周年式典」(2019年)
- ・愛知県「ブラジル愛知県人会創立60周年記念式典」(2018年)
- ・沖縄県「沖縄県人ブラジル移住110周年記念式典」(2018年)
- ・三重県「ブラジル三重県人移住105周年、協会創立75周年記念式典」(2018年)
- ・静岡県「ブラジル静岡県人会創立60周年式典」(2017年)
- ・千葉県「ブラジル千葉県人会創立60周年記念式典」(2017年)

(2) 後年度の財政負担

- ・本県とブラジルとの交流促進のため、今後も5年毎に負担する。

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・県出身者の移住者支援施策であり、県負担は妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県人会の功績を讃えることで、県から移住した方々の郷土意識を高め、ブラジル岐阜県人会と本県との協力体制の維持、強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

記念式典開催の直接的効果を定量的に評価できないため。

（前回の取組内容と成果）

○平成30年度事業の活動内容

ブラジル岐阜県人会創立80周年、岐阜県人ブラジル移住105周年記念式典

期日：7月29日～30日

県内からの参加者：41名

（副知事、県職員4名、県議会副議長、県議、岐阜市長、岐阜市議会副議長、郡上市長、郡上市議会議員、山県市長、美濃加茂市副市長及び民間関係者）

行事概要：記念式典、県人会との意見交換会・懇談会、先没者慰霊、日本館視察など

○平成30年度事業の成果

副知事、県議会議員、関係各市長はじめ、多くの関係者が記念式典に参加し、移住者の功績を讃えるとともに、ブラジル岐阜県人会との良好な関係を保つことによって、同県人会の協力を得て実施している各種事業（県費留学生受入事業、農業高校生海外実習派遣、国際調査官専門研修等）を引き続き円滑に実施することができる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>近年では3世、4世と世代が下るにつれ、県人会組織において会員の高齢化、入会者の減少、会員子弟の日本語能力の低下等が進み、日本や出身地域へのアイデンティティが低下し、つながりが希薄になりつつある。県出身ブラジル移住者とのつながりを保ち、岐阜県人会及びブラジル本国との良好な関係を保つため、事業の必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>ブラジル岐阜県人会と本県との良好な関係が保たれている。また、県内各市においてもブラジル姉妹都市等との交流が継続している。</p>
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>記念式典開催にあたっては、ブラジル岐阜県人会の組織及び財政事情を考慮した最小規模での支援を行うこととしている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ブラジル岐阜県人会において中心的役割を担う会員が高齢化し、2世、3世への世代交代が進むことで、郷土意識の低下が懸念されている。それに伴う県人会活動の縮小と各種県事業への支障が生じる可能性がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 若い世代の県出身者としての自覚と県人会への帰属意識を高め、継続した関係構築を図る。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	